

上水道事業の現状と料金改定についての住民説明会

第1回議事要旨

日 時 令和8年8月5日（水）19時00分～20時40分
場 所 西部コミュニティセンター学習室
参加者 14人

【Q1】

審議会のメンバー構成について伺います。学識経験者は具体的にどのような方々で構成されているのか。公営企業会計の実務経験者が中心だと聞いているが、その点について説明してほしい。また、国が示す逡増制廃止という方針について審議会で議論されていない理由は何でしょうか。

次に、議会で否決されて、要望書には段階的に値上げをしてほしいという要望もあったと思います。この段階的にということについて詳しく説明してほしい。

また、下水道料金の話について説明してほしい。

【A1】

審議会メンバーである学識経験者については、公営企業会計の実務経験者を中心に構成しており、専門性については十分に備わっていると考えています。国が進めている逡増制廃止に関する方針については、今回の審議会の議題には含まれておらず、直接的な審議は実施しておりません。しかしながら、町としては現行の料金体系について十分な現状把握を行い、その上で審議を重ねていただいたと考えています。

段階的な料金改定の要望はありましたが、41.6%の改定率は料金回収率110%を目指したものでした。函南町は令和5年度までは料金回収率100%超で自立経営ができており国費の活用がありませんでしたが、令和6年度から回収率が100%を下回り赤字となり、今後は国費も活用しながら施設更新を進めたいため、回収率100%以上を維持する必要があります。41.6%改定をせず29%の改定だけで回収率100%達成という過去のシミュレーションもありますが、これは物価高騰前のもので、現在の状況では達成は難しいと考えています。41.6%改定でも回収率が110%を超えるかは不透明ですが、現状ではこの案が妥当と考えています。

三つ目の下水道料金改定については、今年度下水道事業審議会を開催する予定で、審議会の途中に住民説明会を実施したいと考えています。

【Q 2】

配水施設の構造に関して教えてください。P C 造、R C 造、S U S 造の違いとは具体的にどのようなものなのでしょうか。また、水道施設の老朽化対策としての修繕や耐震化、新設に向けた計画は現在どのようになっていますか。

【A 2】

P C 造やR C 造はどちらもコンクリート製の構造であり、強度が高く耐久性に優れています。一方、S U S 造はステンレス製のため腐食に対して強く、より耐久性の高い構造となっています。老朽化が進んでいる施設については計画を策定し、計画的に耐震化や更新を進めていく必要があると認識しています。

【Q 3】

審議会に参加している町議会議員の氏名を教えてください。函南町における水道供給に占める駿豆水道からの供給割合はどの程度でしょうか。また、東部簡易水道や伊豆の国市のエメラルドタウン地区で料金が高いという指摘がありますが、その原因と今後の対応についてどのように考えていますか。

【A 3】

審議会には、鈴木議長、日吉議員、兵藤議員が参加しています。

函南町の水道供給において、駿豆水道からの供給は約 18%を占めています。

東部簡易水道で料金が高いのは、利用世帯数が少ないことやポンプで圧送しなければならず設備の差などが影響して費用が多くかかっています。

エメラルドタウンの簡易水道は現在 2 年計画で認可申請の準備を進めています。

【Q 4】

その簡易水道の料金は上水道の約 3 倍以上となりますか。

【A 4】

本日は上水道料金の説明会のため簡易水道についてはまた別の機会にさせていただきたい。

【Q 5】

家庭用基本水量 20 立方メートル以下の利用世帯が全体の何割程度か教えてください。また、それを超える世帯の割合も知りたいです。

また、配布されたチラシの内容について、料金が上がるということがもっと伝わるような形にしてほしかった。その点についてどう考えていますか。

【A 5】

家庭用基本水量 20 立方メートル以下で利用されている世帯は、全体の約 35.1% を占めており、さらに 40 立方メートル以下の利用まで含めると、約 66% の世帯が該当します。

配布したチラシに関しては、説明会の開催を主に周知する目的で作成しましたが、今後はより分かりやすく目立つ形の工夫をしたいと思います。

【Q 6】

世帯人数ごとに水道使用量の割合について把握していますか。

【A 6】

水の使用量そのものは把握しているが、世帯の人数は把握できていない状況です。

【Q 7】

一つ目に、審議会の会長が元職員であることに対して疑問がありますが、どのように考えていますか。

二つ目に、1 回目の審議会で 15% の値上げ案を説明しているがどういう意味なのでしょうか。

三つ目に、審議会を欠席した委員の意見を職員が代読したことについて問題はないでしょうか。

四つ目に、第 2、第 3 浄水場の耐震化の話がありましたが、これはシミュレーションの費用に盛り込まれていますか。

五つ目に、水道は独立採算制のため自分たちでやっているが、今後一般会計から補填していく方針なのか、使わない方針なのか。

六つ目に、今回の説明会で質疑応答と意見の受付とあるが、何のために書かれているのか。意見を受け付けると言っても、反対と言っても何も変わらない。意見を受け付ける理由を教えてください。

七つ目に、審議会委員の公募についての見解をお聞かせください。

【A 7】

一つ目の質問、会長は元職員ですが、水道課の長年の経験や知見に優れていると判断したもので適任と考えています。

二つ目の質問、15% の値上げ案は過去に実施されなかった料金改定分を算出したもので、参考例として示したものです。

三つ目の質問、欠席委員の意見を職員が代読したのは、事前の資料配付と合わせて説明し、意見いただき、なるべく欠席の方の意見も取り入れたいという良かれと考えたことによるものです。

四つ目の質問、施設の修繕および更新費用は計画していますが、現時点で大規模修繕費用などは、耐震性を調査して、耐震性が無い場合にどのように更新を進めていくかということは時間と費用を要するため、浄水場更新の部分はシミュレーションに反映されていない部分もあります。

五つ目の質問、一般会計からの補填は基本的に想定していません。

六つ目の質問、受付けた意見は、議員へ報告させていただく予定です。また、今後の料金見直しの際にも今回いただいた意見を振り返りたいと思います。

七つ目の質問、委員の公募については今後検討させていただきます。

【Q 8】

平成 28 年度に 15.2%の料金改定があり、その後長期間改定がなかったため、急に 41.6%の大幅アップとなっている。もし令和元年度や令和 4 年度にも段階的な値上げが行われていれば、急激な 41.6%の改定は避けられたのではないか。

【A 8】

改定期間が長く空いたため、今回の料金改定率は 41.6%と高くなっています。令和 2 年のコロナの影響もあり料金を据え置いてきたのが現状です。富士市の改定案は 37.1%で 2 ヶ月に 1,980 円の増額ですが、函南町は 41.6%の改定でも 2 ヶ月で 850 円の増額にとどまっています。同じ金額アップにするためには函南町は約 95%の改定が必要になるため、41.6%はインパクトがあるものの実際の負担増は比較的小さいことをご理解いただきたいと思います。